

設問番号	(1)
解答又は 解答例	論述の解答では以下の点を確認する。 ・政治家の年齢を 18 歳以上とした場合の、政治家、政党、選挙などの現代政治に対するインパクトを、民主主義の構成や思想という観点から、一貫した叙述ができているか。 ・選挙権と被選挙権を同じにすることの、政治理論的な意味を理解しているか。すなわち、代表者と被代表者の客観的な条件が同じになり、民主主義の主体としての一貫性が確保される。だが同時に、政治家に関する条件が低まることで、それに関するイメージが変化する可能性がある。 ・被選挙権を 18 歳に引き下げることについて、現在、社会的な了解は得られていない。この社会的な了解を獲得できるような具体的な条件を、学術的に考察できているか。 ・衆議院議員と参議院議員の現時点での下限年齢について、反省的な分析がなされているか。現時点の下限年齢を肯定するにせよ、否定するにせよ、その論拠の考察がなされているか。
出題の意図	被選挙権年齢について、昨今では学術的に注目の論点のひとつである。その内容を整理し、独自の考察を導く能力を問うている。 現代政治および社会の課題について、学術的な問題意識をもちえているか評価する。

設問番号	(2)
解答又は 解答例	論述の解答では以下の点を確認する。 ・近代国家が権力構造を制度化する歴史をしっかりと把握できているか。 ・税の徴収を一元的に支配するという近代国家の特性を、具体的な歴史的事例（たとえば地租改正など）をもちいて、整理することができるか。 ・国家権力が経済を支配し、通貨政策を一元化するなかで、税のあり方が変化した点を理解できているか。また、税制と各国の国家権力・社会編成の特徴を結びつけて理解できているか。 ・課税対象のちがいが、各国の権力構造とどのようなつながりがあるか、整理できているか。
出題の意図	徴税の観点から、政治学の中心的な分析課題である、国家のあり方を説明することがもとめられる。また近年の経済・文化を中心としたグローバル化で、国家のあり方にどのような変化が生じうのか、その展望についての洞察を図る。 各国の比較を経済政策の観点から、正確に行うことができるかを評価する。

設問番号	(3)
解答又は 解答例	論述の解答では以下の点を確認する。 ・アメリカ独立の大まかな歴史的な流れを、政治・経済・文化などの知識を背景として、しっかり把握できているか。 ・独立をもたらす論理について、学術的な説明をすることができるか。 ・「代表なくして課税なし」という標語の意味を理解しているか。現代政治では、有権者の条件と税負担は切り離されている。この切り離しによって、政治主体はどのような存在として認識可能なのか、精緻な考察がなされているか。 ・政治的代表的論理を政治理論にそくして整理できているか。
出題の意図	250 周年を迎え、アメリカ独立が学術的に多角的に検討されているなかで、学術的な問題意識があるかを評価する。 議会政治について、その意義や特徴に関して説明ができるかを評価する。 近年、学術的に関心度の高い政治的代表的について、一定の知見があるかを評価する。